

2026年5月12日

各位

東京都台東区上野 1 丁目 15-3

会社名 **株式会社 ナガホリ**

代表者名 代表取締役社長 長堀 慶太  
(コード番号 8139 東証スタンダード)

問合せ先 常務取締役管理本部長 吾郷 雅文  
(TEL. 03-3832-8266)

令和8年3月期通期業績予想の上方修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和8年2月13日に公表いたしました令和8年3月期通期の連結業績予想並びに令和8年3月期の期末配当予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 令和8年3月期の連結業績予想数値の修正 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 26,500	百万円 1,300	百万円 1,200	百万円 600	円 銭 39.13
今回発表予想 (B)	29,380	1,722	1,591	1,100	71.73
増減額 (B - A)	2,880	422	391	500	
増減率 (%)	10.9	32.5	32.6	83.3	
(ご参考) 前期実績 (令和7年3月期)	22,891	723	650	406	26.50

(2) 修正の理由

ジュエリー業界におきましても、個人消費の堅調さに加え、地金相場的大幅な高騰などにより好調な動きがみられました。一方で、物価高、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中東情勢などの地政学的リスクによるジュエリー商品への影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと、自社催事や顧客催事等の販売活動に取り組みました。また、M&Aにより、札幌百貨店の店舗を展開する株式会社翔を子会社化、金地金製品の引合い増加に対応した商品供給、財務の安定のための当座貸越枠の活用等による資金調達、海外及び自社ブランドの広告等により販売強化を図りました。加えて、金価格の高騰により地金製品販売がグループ各社で増加し、グループ内製造の増大にもつな

がりました。さらに、海外販売網の拡大や小売店舗販売などにも、グループ各社において積極的に取り組みました。

これにより、売上高及び売上総利益ともに予想を上回り、販売費及び一般管理費も予想を若干上回りましたが、営業利益は予想を上回りました。また、営業外費用及び特別損失等が予想を下回ったこと等により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益も予想を大きく上回る見込みです。

以上の結果、令和8年3月期通期の連結業績予想を上方修正することといたしました。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 令和8年3月期の配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (令和8年2月13日発表)		15.00	15.00
今 回 修 正 予 想		20.00	20.00
当 期 実 績	0.00		
前 期 実 績 (令和7年3月期)	0.00	10.00	10.00

### (2) 修正の理由

当社は、株主に対し安定した配当を継続して行うことを配当の基本方針としつつ、配当性向40%を目安としております。当期も、令和8年2月13日に「令和8年3月期通期の連結業績予想の上方修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表したとおり、令和8年3月期通期の連結業績予想を基に1株当たり15円の配当を計画しておりました。もっとも、今期の連結業績につきましては、上記業績予想の上方修正後、金相場の高騰に伴う当社製品の需要の増加等の要因から予想以上の伸びを示している一方で、為替相場の不安定化・中東情勢の悪化懸念等による経営環境の先行の不透明感が強まっていることを踏まえ、一部内部留保に回すこととし、連結当期純利益の実績に基づき、期末配当として1株当たり20円を実施する予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により変動する可能性があります。

以 上